

濃州道



濃州道の概要

濃州道は、桑名市三ツ矢橋町から、東員町鳥取、いなべ市員弁町笠田、いなべ市北勢町阿下喜、いなべ市藤原町川合などを通り、いなべ市藤原町山口で巡見道と合流して濃州（今の岐阜県）へ向かう街道である。三岐鉄道北勢線とほぼ並行するこの街道は、員弁郡下と桑名城下を結ぶ道として発展し、桑名では「員弁街道」とも呼ばれた。

北勢鉄道（現三岐鉄道北勢線）が敷設されるまでは、桑名から阿下喜まで馬車が通じていた。現在も起点の桑名には馬道という地名が残り、往時を偲ばせる。

街道の南に員弁川が流れているが、地元では額田と星川の境にある坂井橋から上流を員弁川、下流を町屋川とも呼んでいる。額田も星川も現在は桑名市だが、かつて額田は旧桑名郡、星川は旧員弁郡であり、橋の対岸の坂井という地名は、両郡の郡境だったところから付いた。星川から森忠、芳ヶ崎と続く

街道沿いには切妻屋根や格子戸のある美しい家並みが残っている。そして、由緒ある寺院や神社などが点在し、歴史情緒が感じられる。

芳ヶ崎には市指定の天然記念物である巨大な「クログネモチの木」があり、当時から街道の目印として利用されていたという。また、東員町鳥取には、鳥取塚があり、鰻頭型の円丘の上に明治44年（1911）に建立された珪化木の碑が建っている。珪化木でできた碑は珍しく、上部は風化が激しいが、くっきりと「鳥取塚」の文字が刻まれている。

東員町から戸上川にかかる茶屋川橋を渡っていなべ市員弁町へ入ると次第に緑が多くなり、ゆったりとした雰囲気包まれる。大泉新田、笠田新田など「新田」の名が付く集落を行く街道は、未舗装の坂道などもあり、西に鈴鹿山脈、北に養老山地の美しい山並みが広がるのどかな風景を望みながら、いなべ市北勢町の中心地である阿下喜へ向かう。阿下喜は岐阜県海津方面へ続く道とも交わり、その道は養老と海津を結ぶ交易路でもあったため、商業の町として発展した。阿下喜を過ぎていなべ市藤原町に入ると、街道は国道306号ともしばらく合流するようになる。そして山口で巡見道と合流して、岐阜県大垣市上石津町へと入っていく。



(1) 矢田-A

(桑名市三ツ矢橋町～西別所)

この部分は
23 ページを
ご覧ください



14 玉三稲荷
創建年代は不詳。安藤家の屋敷神として祀られていた。



12 梶島一操句碑



15 西川原の家並み



8 益生新楽堂



13 稲荷神社
の石碑
街道際にある。



9 大谷句佛句碑



11 走井山勧学寺
十日観音として親しまれ、
本尊の千手観音は県指定文
化財。本堂は元禄時代の建
立。付近は中世末の矢田城跡
で、現在は走井山公園として
整備されている。伊勢西国
三十三所観音霊場第31番札
所



10 田中木工所
嘉永7年(1854)に建てられ
たという間口7間、奥行き7
間半、土蔵造りの総二階。こ
の建物の西一帯は明治中頃
の大火で焼けたが、この家で
火がおさまったという。



6 愛宕道
善龍寺から3軒目くらいの
交差点から北へ入る道。



5 善龍寺
江戸時代には桑名城下の萱
町法盛寺内にあった。明治
14年に移転。



4 古い家並み
馬道2丁目のあたり。明治時
代の建築。なかには江戸時代
のものもある。



1 松尾芭蕉句碑



3 東馬道
ここまでが東馬道。この道は
多度道とも美濃道とも称さ
れる。



2 濃州道の起点
江戸時代は本願寺村枝郷水
車であった。水車から西へ約
600mを馬道という。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- ましかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(1) 矢田-B

(桑名市三ツ矢橋町～西別所)



9 子安地藏
城下橋の北畔の地藏堂。もとは北部の台地上の寺に祀られていた。廃寺になって放置されていたが、明治初年頃に街道安全のために現在地に移したと伝えられる。堂は昭和48年に改築。



6 小祠堂
高さ10cmほどの小さな地藏を祀る。



8 照林寺
昔は西別所の会所だった。明治44年(1911)に桑名城下の萱町法盛寺の塔頭であった照林寺が移転した。



5 御膳水井戸
導水井戸の井戸枠が4つある。北部の大地の湧水を地下道で導水して汲み上げた井戸。



7 地藏堂
安永6年(1777)のもので、前面に大小2体の地藏が浮彫りされた四角形の石がおさまられている。台石には「石橋供養塔」と刻まれている。



1 地藏堂
西川原の三叉路南西角にある。



2 石碑
地藏堂の傍、「三界(萬霊)瑠璃山光明寺」と刻まれ、下半分が埋まっている。



3 墓地
西河原霊園。もと西河原葬所。



4 阿弥陀堂
昭和55年(1980)のもの。西河原霊園内にある。

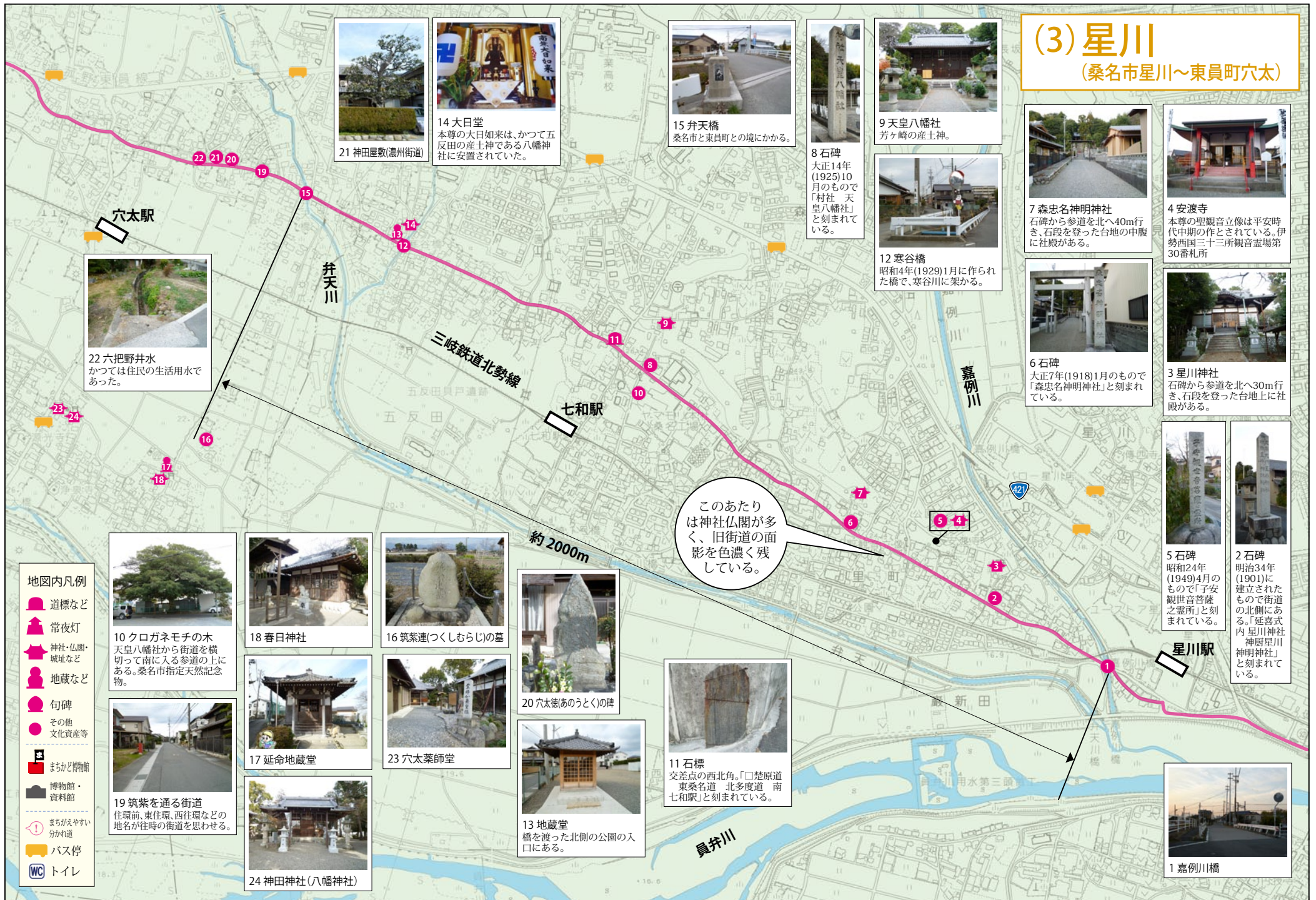
国道258号を横断する。

この部分は
20 ページを
ご覧ください

地図内凡例

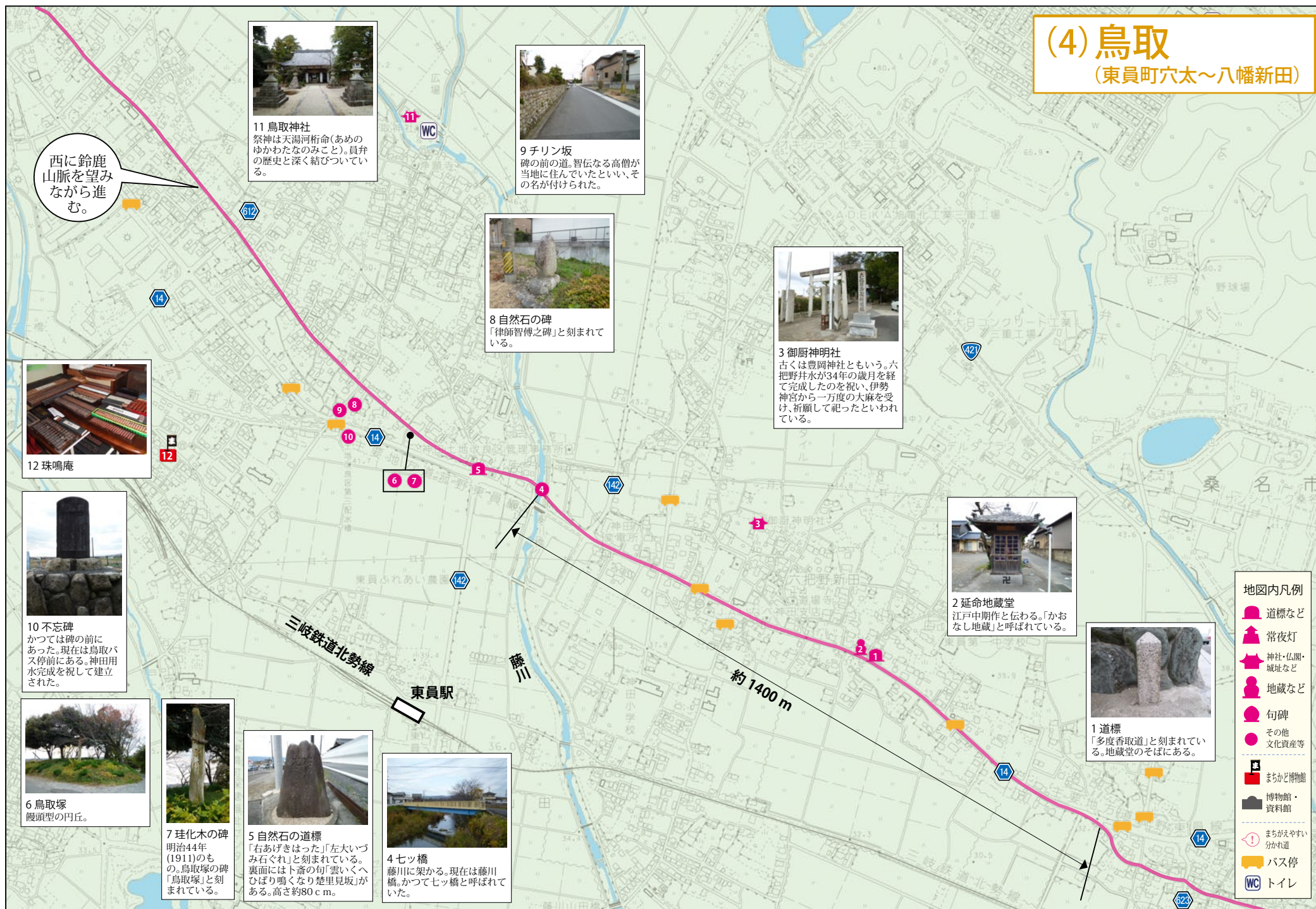
- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地藏など
- 句碑
- その他文化遺産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(3) 星川 (桑名市星川～東員町穴太)



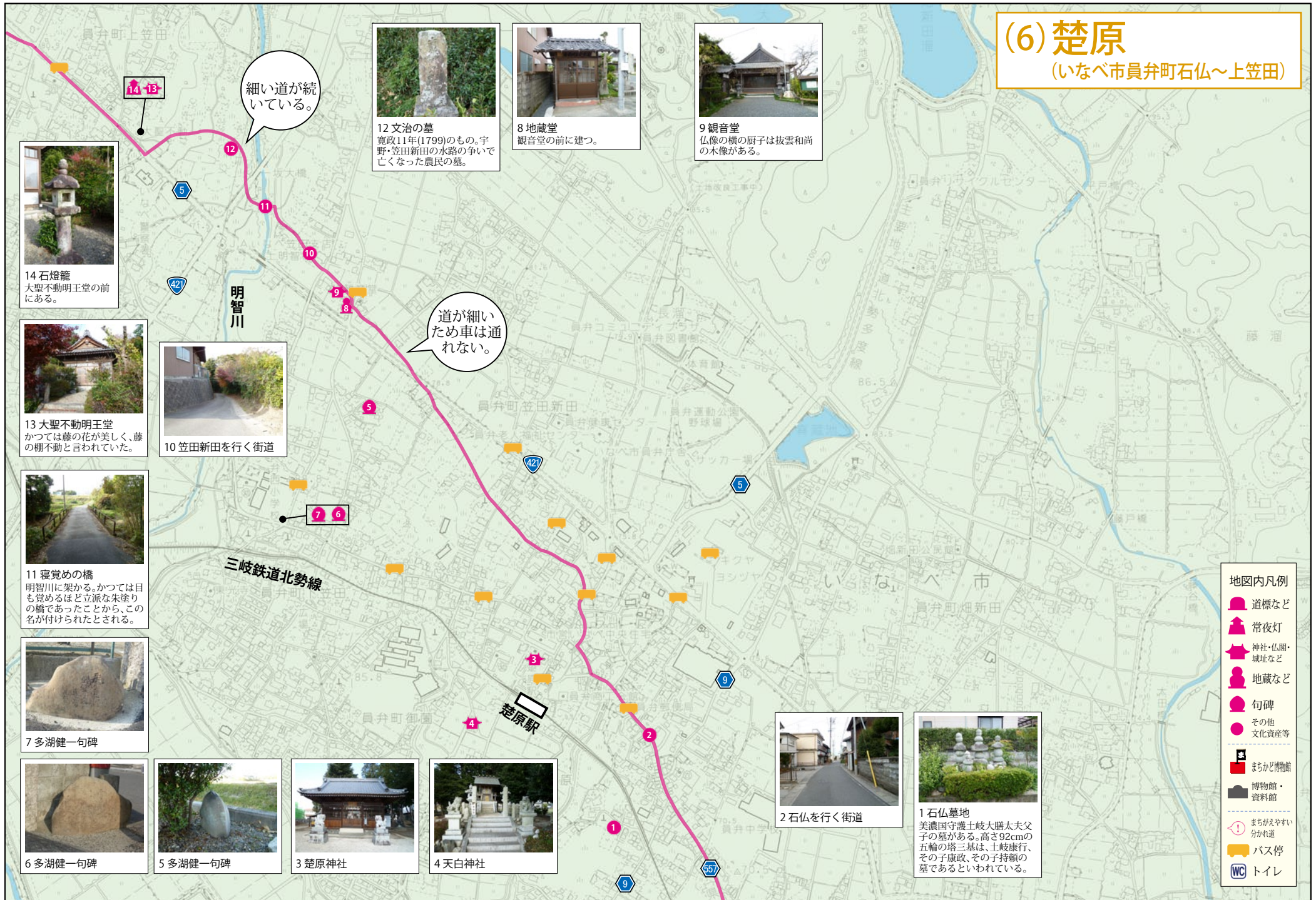
(4) 鳥取

(東員町穴太～八幡新田)





(6) 楚原 (いなべ市員弁町石仏～上笠田)



(7) 麻生田

(いなべ市員弁町上笠田～北勢町麻生田)



4 員弁川石の館



3 なでこの家・瞿麦堂



2 麻生田に行く街道



1 山田橋
山田川に架かる。この橋でいなべ市北勢町麻生田地内に入る。

過去のルート

約 700 m

約 1000 m

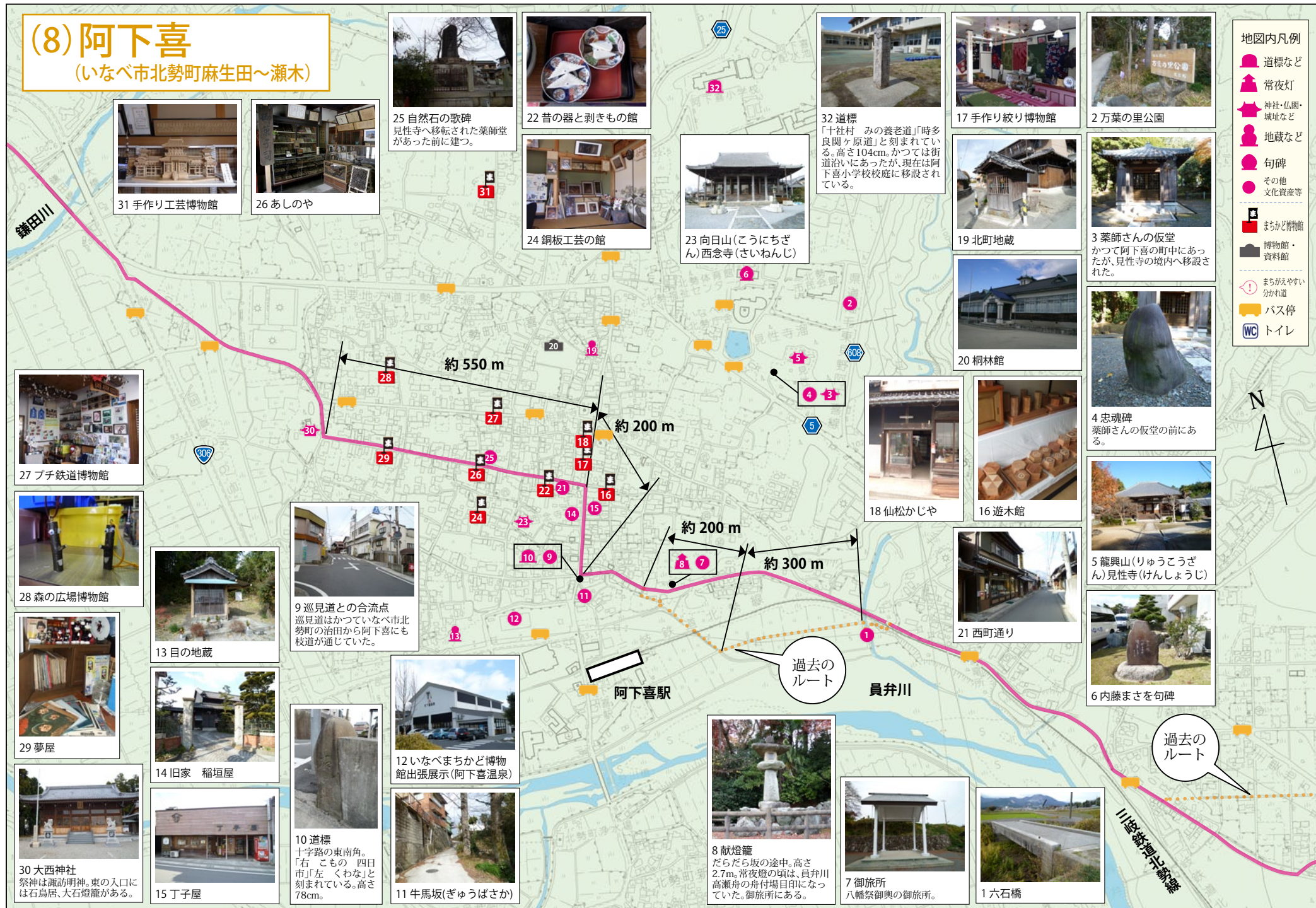
過去のルート

木立の中を抜ける。

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

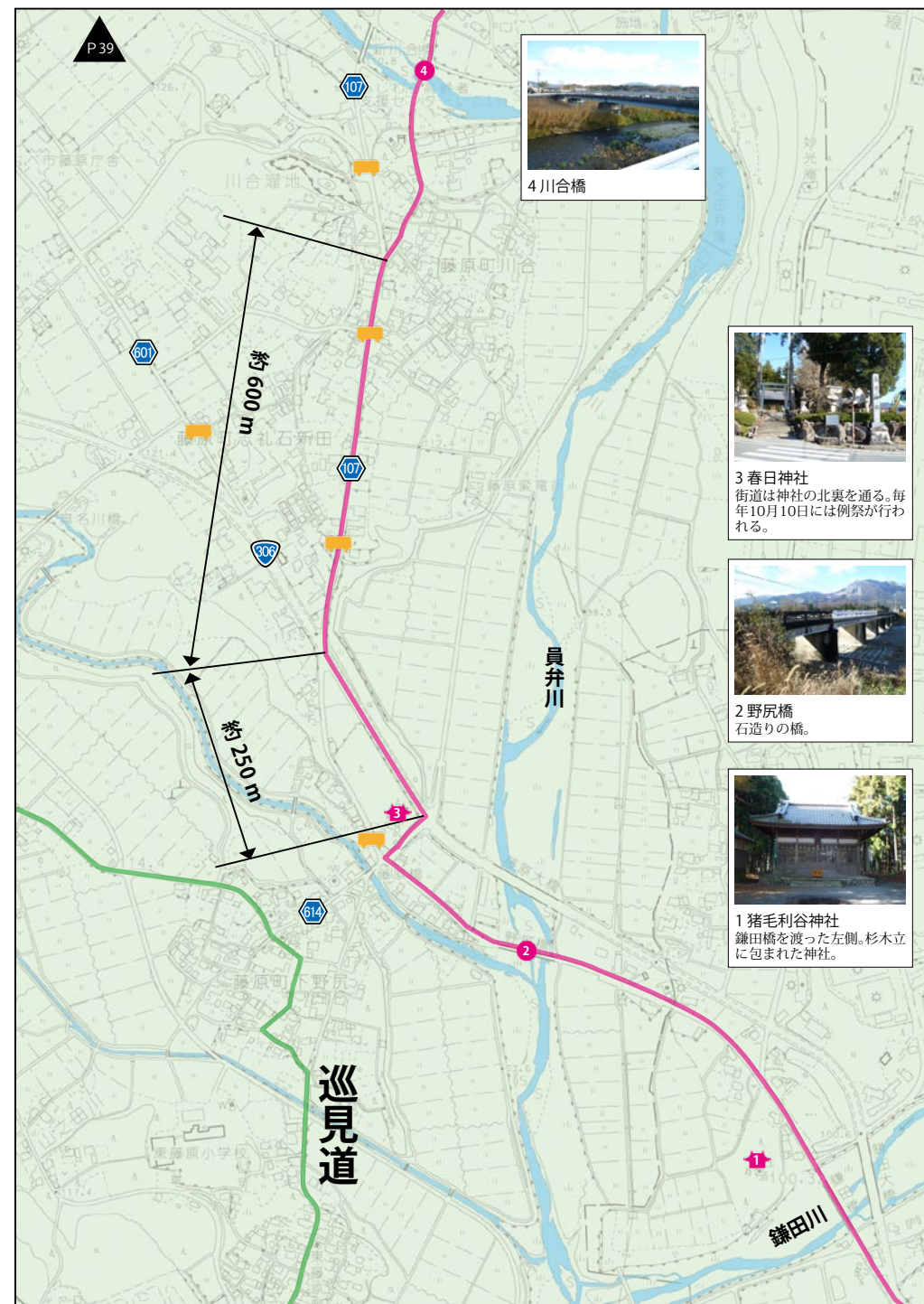
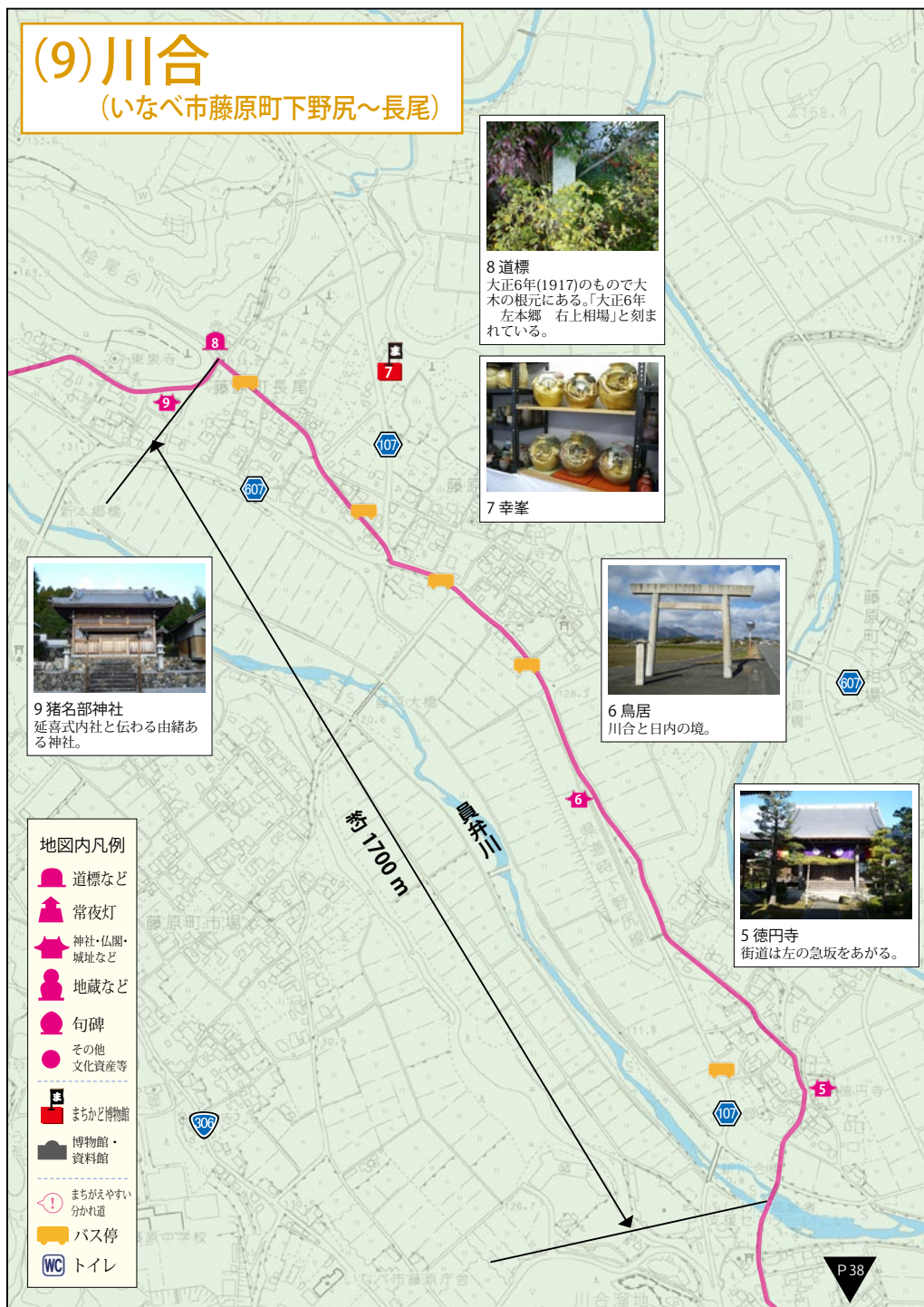
(8) 阿下喜

(いなべ市北勢町麻生田～瀬木)



(9)川合

(いなべ市藤原町下野尻～長尾)



(10) 山口

(いなべ市藤原町本郷～山口)



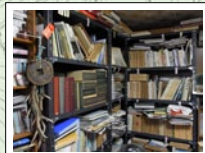
4 道標
巡見道と濃州道の合流点。



3 常夜燈
集落入口。「内宮外宮 村内安全」と刻まれている。



5 巡見道との合流点



6 史学庵



2 布夢庵



1 ギャラリー白瀬の郷

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ